

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2025年 9月29日

和泉市長 あて

団体名 のぞみ野街づくり推進委員会  
代表者名 宮本英昭  
所在地 和泉市のぞみ野1丁目3番37号  
電話番号 0725(55)1932

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	第22回 のぞみ野夏まつり 2026
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,775,000 円 (うち、対象経費 2,065,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

## 団体概要調書

フリガナ	ノゾミノ マチツクリ スイシン イインカイ		
団体名	のぞみ野街づくり推進委員会		
団体の目的	当団体は、緑ヶ丘校区および近隣校区を対象に、夏まつりをはじめとする地域交流活動を継続的に実施しています。これらの取り組みを通じて、地域の活性化を図るとともに、住民が安心して暮らせる、笑顔あふれる街づくりを目指しています。		
市内事務所の所在地	〒594-1105 和泉市のぞみ野1丁目3番37号 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <input checked="" type="checkbox"/> その他（のぞみ野自治会館）】		
	電話	0725 (55) 1932 [REDACTED]	FAX [REDACTED]
フリガナ	ミヤモト ヒデアキ		
代表者氏名	宮本 英昭		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ [REDACTED]		電話 [REDACTED]
	[REDACTED]		FAX [REDACTED]
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設立年月	平成22年10月	主な活動地域	緑ヶ丘校区 他
会報等の発行	有 ( 回発行) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	21人
メールアドレス	[REDACTED]		
ホームページ	http://nozomino.main.jp/summer		
主な事業内容	夏まつりの実施		
主な活動の実績	<p>地域に根ざした恒例行事である「夏まつり」は、長年にわたり地域住民の交流の場として親しまれてきました。令和2年から令和4年までは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、令和5年より再開し、多くの来場者にご参加いただきました。</p> <p>舞台演目では、ダンスパフォーマンス、吹奏楽、チアリーディング、大道芸、マジック、阿波踊りなど、幅広いジャンルの催しを実施し、世代を超えた賑わいを創出しました。</p> <p>また、模擬店には子ども会、地域団体、協賛店舗等が出店し、飲食やゲームなど多彩な店舗が並び、地域の活性化および参加団体間の交流促進に寄与しました。</p>		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	第22回 のぞみ野夏まつり 2026	
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース	<input type="checkbox"/> ステップアップコース
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>近年、和泉市全体で市民まつりの開催が見送られており、特に住宅地の多い周辺地域において、地域住民同士の交流機会が著しく減少しています。こうした状況は、地域のつながりの希薄化や、世代間の断絶を招く要因となっており、安心して暮らせる地域社会の維持・発展にとって課題となっています。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>本事業では、地域住民の年齢や立場を超えた交流の場を創出することにより、相互理解と思いやりの心を育み、地域内の絆を深めることを目指します。</p> <p>「この街が故郷（ふるさと）やねん！」と誇りを持って語れるような、温かく活気ある街づくりの実現に寄与することが期待されます。</p> <p>実際に、幼少期に夏まつりへ参加していた子どもたちが、成長後には模擬店の運営を手伝うなど、ゲスト（楽しむ側）からホスト（楽しませる側）へと役割を変えながら地域活動に関わる姿が見られています。こうした世代を超えた循環的な関わりが、地域の持続的な活性化につながっています。</p>		
4 事業内容（※別紙添付可）		
<p>① 問題点・課題を解決するために、どのような方法を用いて、どのような事業を実施しますか。</p> <p>本事業では、地域住民の交流機会の減少という課題に対し、以下の取り組みを通じて解決を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模擬店の運営</li> </ul> <p>地域の魅力を発信できる店舗が並ぶよう、地域広報紙やマンション管理組合の掲示板等を活用して出店者を募集します。子ども会、地域団体、協賛店舗など、多様な主体による出店を促進し、地域の活性化と参加意欲の向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台演目の企画</li> </ul> <p>毎年恒例の演目に加え、一般参加者の募集も行い、幅広い年齢層が楽しめる内容を計画します。世代を超えた参加を促すことで、地域内のつながりを強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続的な運営体制の構築</li> </ul> <p>事業の継続性を確保するため、スタッフの募集および地域住民からの意見収集を積極的に行い、運営体制の強化と地域ニーズの反映を図ります。</p>		
② 実施期間（日時）	2026年7月25日（土）	
③ 実施場所	桃山学院大学（予定）	
④ 主な対象者	緑ヶ丘校区および近隣校区にお住まいの方々（幼児から高齢者まで）	
⑤ 参加予定者数	4,000人	
⑥ 告知方法	和泉市広報紙、地域チラシの配布、ポスター掲示、ホームページ掲載	
5 事業スケジュール		
時期（月）	4月	推進委員会総会（実行委員会1回開催予定、のぞみ野夏まつり実行委員会立ち上げ）
	5月～7月	実行委員会4～6回開催予定
	7月25日	第22回 のぞみ野夏まつり 2026 実施
	7月26日	実行委員と模擬店出店者による会場清掃
	8月	反省会開催予定

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	<p>和泉市民まつりがなくなったことをきっかけに、過去18回にわたり継続的に開催されてきました。毎年多くの老若男女が参加し、アンケート結果でも高い評価と共感を得ており、地域に根差した公益性の高い活動として定着しています。</p> <p>舞台演目や模擬店には、子ども会、地域団体、協賛店舗など多様な市民が参加し、発表の場としての役割も果たしています。文化の振興とともに、子どもたちの健全な成長を促す貴重な機会となっています。</p> <p>また、「顔の見える関係づくり」を促進し、地域のつながりを深める場として重要な役割を担っています。さらに、「離れていても心は一つ」という合言葉のもと、東日本大震災をはじめとする被災地への募金活動を継続しており、地域の枠を超えた公益的な取り組みとしても高く評価されています。</p>
② 継続性	<p>来場者数および運営に関わるボランティア（桃山学院大学生など）の人数は年々増加しており、地域に定着した継続的な活動として発展しています。</p> <p>地域企業や地元店舗からの協賛も継続的に得られており、地域全体で支える体制が整っています。これらの要素が相互に作用し、事業の持続可能性を高めています。</p>
③ 実行性	<p>過去18回の開催実績に加え、毎年複数回の会議を通じて運営体制の強化と事業の発展を図っています。運営、警備、舞台、模擬店などの各部門で組織を編成し、これまでトラブルの発生はありません。</p> <p>経費は約270万円を要し、地元からの協賛金のみでは運営が困難なため、助成金申請を行っています。長年の経験者と新人スタッフが協力し、安定した組織体制を維持しています。さらに、非常時に備えて救護班を設置し、医師（やよいクリニック様）の常駐も実現しており、安全面にも十分配慮しています。</p>
④ 協働性	<p>のぞみ野地域を主体とした事業ではありますが、ダンスイベントでは和泉市各地のサークルから広く参加者を募集し、模擬店では出店者との事前会議を通じて準備を進めるなど、広域的な協働体制を構築しています。</p> <p>『まつり』をきっかけに顔見知りが増え、交友関係が広がることで、地域活動（例：小学生の登下校見守り）への協力も促進されるなど、相互連携の効果が期待されています。</p>
⑤ 公開性	<p>のぞみ野周辺地域にはチラシを配布し、その他地域にはホームページを通じて情報発信を行っています。また、市の広報紙への掲載も依頼しており、広範な周知活動を展開しています。</p> <p>ホームページでは、過去の開催風景を写真で紹介し、『まつり』の雰囲気視覚的に伝える工夫も行っていきます。</p>
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>参加者の中でも特に子どもたちの増加が見受けられ、地域の次世代育成にも貢献しています。初回からアルコールの持ち込みを禁止し、模擬店やトイレの位置を示す見取り図をホームページに掲載、会場内にも看板を設置するなど、利便性と安全性の向上に努めています。</p> <p>会場警備についても、スタッフ警備員に加えプロ警備員を配置するなど、改善を重ねてきました。参加者の声に耳を傾けながら、誰もが安心して楽しめる「来年も参加したい」と思える『まつり』を目指し、今後も努力を続けてまいります。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： 第22回 のぞみ野夏まつり 2026

## 1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	460,000 1,300,000	地域自治会・マンション管理組合協賛金 地域企業協賛金
自主財源	215,000	のぞみ野街づくり推進委員会
合 計	2,775,000	

## 2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
<b>&lt;対象内経費&gt;</b>		
報償費	745,000	出演者御礼
旅 費	10,000	交通費・ガソリン代
消耗品費	100,000	掲示用ラミネート紙・模造紙・封筒・コロナ対策費等
食糧費	150,000	出演者弁当代 @1,000×130名=130,000 スタッフ作業時飲料代@200×100名=20,000
印刷製本費	40,000	チラシ3,600枚 A3 両面フルカラー
役務費	20,000	切手代・振込手数料
委託料	1,000,000	舞台・テント・電気設備設営費用・警備費・ゴミ収集代
<b>対象経費計</b>	<b>2,065,000</b>	
<b>&lt;対象外経費&gt;</b>		
報償費	130,000	団体スタッフへの作業謝礼、お花代等
旅 費	20,000	軽トラックガソリン代（個人使用分）
消耗品費	150,000	景品（電化製品・商品券・文具セット等）
食糧費	80,000	当日スタッフ弁当代 100名
役務費	10,000	会議関係通信費、使用料（自治会館＋桃大電気代）
使用料	20,000	飲食を伴う会議費
その他	300,000	参加者へのお買い物券@100
<b>対象外経費計</b>	<b>710,000</b>	
合 計	2,775,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。